

2020（令和2）年度関西保育福祉専門学校

第1回学校関係者評価委員会報告

本校の学校関係者評価委員会設置要綱に基づき設置した学校関係者評価委員会において、第1回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、概要をお知らせいたします。

1 開催期日 令和2年10月20日（火）15:00～17:00

2 開催場所 関西保育福祉専門学校校長室

3 出席者

■ 学校関係者評価委員

NO	委員名	所属等	出欠
1	長部俊弘 委員	社会福祉法人長陽会 ニコニコ桜保育園 理事長兼園長	欠席
2	田淵勝彦 委員	社会福祉法人みおつくし福祉会 救護施設 淀川寮 施設長	出席
3	田中稔弘 委員	社会福祉法人 明石恵泉福祉会 西宮恵泉 施設長	出席
4	板羽茂雄 委員	兵庫県立尼崎高等学校 校長	出席
5	瀧本亜紀 委員	保育科2年生 保護者	出席
6	山下知一 委員	社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚さざんかの家 所長	出席
7	松本陽介 委員	学校法人阪急学園 副理事長 いるか幼稚園 園長	欠席

■ 学校教職員

NO	名前	所属等	出欠
1	本田 あけみ	校長	出席
2	細川 明子	教頭	出席
3	竹島 琢夫	事務局長	出席
4	藤田 千波	保育科学科長、就職委員長	出席
5	尾崎 朋子	介護福祉科学科長	出席
6	藤井 和子	教務委員長	出席
7	吉田 しのぶ	学生指導委員長	出席
8	早川 京子	入試委員長	出席

4 概要

(1) 校長挨拶

(2) 委員長の選出

委員長に山下 知一 委員が選出された。

(3) 報告

報告事項1 「2019（令和元）年度関西保育福祉専門学校自己評価報告書」について

■ 山下委員長から、自己評価「適切」と評価をうける

報告事項2 法人合併について

■ 学校から、資料に基づき説明

報告事項3 学校の現状について

■ 学校から、資料に基づき説明

(4) 協議

(1) 2020年度の取り組みについて

①学校経営重点目標並びに事業計画

■ 学校から、資料に基づき説明

②学校における新型コロナ・ウイルス感染症対応

■ 学校から、資料に基づき説明

③広報活動の取り組み

■ 学校から、資料に基づき説明（広報ビデオ視聴）

(2) その他

□ 委員の主な質問・意見

【新型コロナ・ウイルス感染症対応に関して】

<実習関係>

- ・実習を受けているが、実習を断っているばかりでなく、学校から断られている。
- ・今月から家族も予約制で面会している
- ・現場は、インフルエンザが流行してくると予防対策が重要になってくるが、手袋などの物品が不足している。
- ・入所の現場は閉められない。リスクマネジメントとして中途半端なことはできない。
- ・保育所は、実習の学生は受け入れたが、教職課程の介護等体験は断っている。
- ・校内実習も可能とのことだが、学校として、現場実習をなぜ行うのか、実習でしかできないことは何か、原点を見直すべきである。

<オンライン授業等ICT関係>

- ・家庭のパソコンはリビングにあり兄弟がいる場合、受講が難しい。そのため、自室でスマートフォン受講となった。
- ・携帯よりはパソコンの方が受講には有効だと感じた。スマートフォンは難しい。

- ・高校は2022年度から一斉にICT化が進む。これからである。
- ・県立高校でもやっとプロジェクターやWi-Fi環境等が準備できた。
- ・第3波が来た時のために、対策を進めている。
- ・パソコンを全員に購入させたが、活用しないということが一番の課題となる。計画的に活用を進める取り組みが必要となる。
- ・福祉分野でもICT化は進んでいる。地域のブロック会議などもオンラインで行っている。
- ・法人内でもICTに関わる人材確保は難しい状況である。
- ・社会福祉協議会で、タブレットを貸与する制度があり活用できる。
- ・今後、少子化のさらなる進展に伴い、介護の担い手がますます不足することから、ICT活用、特にロボットの活用が進められる。学校においても、授業で取り入れていくことを検討する必要がある。

【広報活動に関して】

<募集について>

- ・高齢者施設などでコロナ感染症に過敏に対応したことで、3Kの印象がより強くなり、福祉の道への志望を回避する方向にならないか危惧する。
- ・入所施設は、何があろうとも出勤が必要となる。職員の中には、感染が怖いということで退職したケースもある。
- ・高等教育の授業料減免を確保しておかないと、出願希望者の確保が難しくなる。
- ・大学の広報で、夏休みを利用して卒業生が母校を訪問する取り組みを行っている。専門学校でも、必要ではないか。成長した姿の先輩が来るというのは大切である。
- ・学生の満足度、卒業生の満足度、保護者の満足度を調査評価し、教育活動を見直すことも必要ではないか。
- ・SNSによる学生の声を出してほしい。リピーターをつくっていくことが大切である。
- ・高校生が「面白いな」「ここへ行きたい」と思ってもらえるような専門職業教育の内容を確実に詳細に見せる工夫ができるのではないか。
- ・HPなどは自分の意志で見ると、新聞やネットなど広く媒体として活用する必要がある。

<進路について>

- ・知的障害の分野にあまり学生が来ない。介護の学生も就職先の一つとして繋がればよい。
- ・今年は、人材確保のフェアが軒並み中止になっている。
- ・法人のほうでは、4年制大学のリクルートで「人のためになる」とおさえた活動をしている。
- ・介護への就職希望者が減ってきている。事業所の閉鎖も視野に入れている。
- ・就職フェアは密になるので、予約制の面接をしている。

5 事務連絡

- 第2回の会議は、来年の2月末に予定しており、学校自己評価報告書がまとまったら開催をお願いします。